「グローバル知的財産権保護指数報告（2022）」の概要紹介

2023 年 1 月 11 日
JETRO 香港事務所

2023 年 1 月 9 日、中国国際貿易促進委員会（CCPIT：China Council for the Promotion of International Trade）[1]から、「**グローバル知的財産権保護指数報告（2022）**」（全球知识产权保护指数报告(2022)[2]）（全 32 頁）が公表された。

本報告によれば、本指数は、世界主要国[3]の知財権保護の状況等を評価・比較分析したもので、世界の知財権保護の発展動向や特徴を示す「イメージ図」（影像图）であると共に、その国の知財権保護レベルを測る「バロメーター」（晴雨表）でもある。

グローバル知財権保護指数は、次の 5 つの 1 次指標（①～⑤）で構成される（括弧内は指数算出時の重み。1 次指標を構成する 2 次指標[4]を各項目に列挙）。

① 知財権保護基礎（10%）
人的資源要素（3.33%）、資本資源要素（4.17%）、知識資源要素（2.50%）

② 知財権保護生態（15%）
ビジネス環境（6.00%）、法治環境（4.50%）、情報化環境（4.50%）

③ 知財権保護執行（35%）
執行レベル（13.46%）、保護効率（8.08%）、サービス措置（13.46%）

④ 知財権国際協力（20%）
国際化レベル（10.00%）、国際影響力（10.00%）

⑤ 知財権保護成果（20%）
総合成果（9.23%）、放射効果（6.15%）、経済産出（4.62%）

---

[1] 1952 年に設立された国家対外貿易・投資促進機関。国家発展戦略の実施や対外貿易・二国間投資・経済技術協力の促進、中国政府機関主催の海外貿易展示会の管理などの責任を担う。
［中国語ウェブサイト］https://www.ccpit.org/　［英語ウェブサイト］https://en.ccpit.org/

[2] ［原文］https://www.ctils.com/categories/55/articles

[3] 比較可能性、客観性、権威性などの要素を考慮し、様々な専門家の意見や提案を取り入れながら、地域や発展段階の異なる 15 カ国を調査対象として選んだ、と説明されている。

[4] さらに、2 次指標はいずれも 3～6 の 3 次指標（より具体的な指標）で構成される。

グローバル知財権保護指数の総合順位は以下に示すとおりである。

順位	国家	1 次指標［数字は順位］					［参考］*2022* 年 *GII*[5]順位	［参考］*2021* 年 *GDP* 順位
		①	②	③	④	⑤		
1	スイス	5	7	1	3	2	*1*	*20*
2	米国	1	3	4	2	4	*2*	*1*
3	ドイツ	6	6	3	1	6	*8*	*4*
4	シンガポール	4	1	7	4	5	*7*	*35*
5	日本	7	4	2	5	7	*13*	*3*
6	韓国	3	5	5	8	3	*6*	*10*
7	**中国**	**2**	**8**	**8**	**9**	**1**	***11***	***2***
8	オーストラリア	8	2	6	7	9	*25*	*13*
9	メキシコ	10	9	9	6	11	*58*	*15*
10	トルコ	9	11	12	13	8	*37*	*19*
11	ロシア	11	10	11	11	12	*47*	*11*
12	南アフリカ	12	13	13	12	13	*61*	*31*
13	ブラジル	13	12	14	15	14	*54*	*12*
14	インド	15	15	10	14	15	*40*	*6*
15	ベトナム	14	14	15	10	10	*48*	*39*

（以上）

[5] Global Innovation Index の略で、イノベーションの能力やアウトプットを評価する指標。この指標に基づいた各国のグローバルランキングが WIPO から毎年公表されている。
［2022 年版］https://www.wipo.int/global_innovation_index/en/2022/